

	美学	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

美学についての入門講座です。「美」を巡る様々な事象を扱う学問が美学です。あまりにも多くの事象が、「美」と結び付き得るので、ド・ブリュイヌ氏は、その領域が無限大に広がるかの如くに捉えています。しかし、ここでは、A. G. バウムガルテンにみられる「美について考察する学問」としての西洋の美学を念頭に置いて、講義を進めます。

「人間の生の営み」の中で芸術を捉えて、美学的見地でのアプローチ法とは何かを学びます。共時的視点と通時的視点とのバランスをとりながら、講義を進めていきます。最終的には、「美とは？」との間に、自ら対峙することのできる視座を養います。

＝履修の条件と学習の方法＝

真摯な態度で、学ぶことのできる学生諸君の受講を求めます。

大学生が取るべき受講態度を、必ず実践すること。

高校卒業程度の世界史(特に文化史)の時代区分の知識を前提とします。

ノートは、自分なりの方法で、しっかりとまとめておくこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：講義の目標や内容の確認及びアンケートの実施
- 2回 「美」とは？(1)
- 3回 「美」とは？(2)
- 4回 「美」とは？(3)
- 5回 芸術の成立
- 6回 「美」の在り方としての芸術
- 7回 美学と芸術学
- 8回 美学と美術史
- 9回 美学と音楽学
- 10回 美学の発展(1) プラトン以降
- 11回 美学の発展(2) カント以降
- 12回 美学の発展(3) 実証主義以降
- 13回 「もの」と「作品」
- 14回 まとめ
- 15回 テスト
- 16回 テスト

＝成績評価の方法と評価の基準＝

評価は、周到な予習・復習に基づく能動的な授業への参加がなされているか否か、また、その結果としての習熟度がどうであったかで行ないます。

つまり、テスト・レポートの成績及び平常点、出席状況を勘案して評価します。

テストは、二部構成で実施し、第一部は、講義の最終回に実施し、第二部は、試験期間の所定の日を実施します。この2日間の試験を必ず受験してください。

第一部では、自筆のノート持ち込み可で、ペーパーテストを実施します。

第二部では、ペーパーテストの返却講評と、確認テスト(原則として持ち込み無し)を、行ないます。

具体的実施方法については、講義中に説明します。

=テキスト（必携）=

必要に応じ、プリントを配布する場合があります。